

令和2年度 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和 3年 3月 19日

事業所名 放課後等デイサービスあすひ

		はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用者定員が指導訓練等スペースとの関係で適切であるか	○	児童が一つのフロアに集中しないように、個別のスケジュール管理をしながら分散させています。
	2	職員の配置数は適切であるか	○	厚生労働省が定める人員基準に合わせて職員を配置しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○	建物の構造上エレベーターがないため、階段には両側に手すりを設置し、必要に応じ見守りや介助を行い安全の配慮に努めています。
業務改善	4	業務改善を進めるための、PDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○	定期的に、支援会議の時間を設け、目標設定や評価、振り返り等を行っています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○	支援の方向性等、保護者のニーズに応えながら環境設定や、支援計画を作成しています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○	ホームページで確認できるようにしています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○	現在は実施していませんが、今後、必要に応じて検討していきたいと思っています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○	内部研修は定期的に行っております。外部研修は、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、積極的な参加は難しかったですが、オンライン研修で対応しました。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○	日々の支援記録や保護者面談によるアセスメントを行っています。また、定期的に個別支援会議を実施し、職員同士で話し合いをする機会を設けています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○	標準化されたアセスメントツールを使用できていない為、研修会等へ積極的に参加し、今後使用していけるよう努めていきます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○	個別支援会議を定期的に行い、職員間で意見を共有しています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○	1人ひとりの障がい特性や課題に応じてプログラム活動を組み合わせている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○	休日や長期休暇等、長時間お預かりする場合は、外出訓練など取り入れている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○	1人ひとりにあわせ、個別活動と集団活動を組み合わせながら活動を行っています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について作成しているか	○	毎日、ミーティング時に今日の活動内容や注意事項等、話し合いの場を設けています。
	16	支援開始後には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○	翌日のミーティングで振り返りや支援の進め方を共有しています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○	個々の支援に対しての活動内容を記録するよう努めています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○	定期的なモニタリング、家族との面談を行い計画の見直しを行う。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○	個別支援計画作成等の際にガイドラインを見直すこととし、支援に反映させる。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○	管理者や児童発達支援管理責任者が参画しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○	保護者と連絡調整を行っています。行事等は、学校ホームページ等で把握しています。

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	今までそういった事例はない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○	今までそういった事例はない。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供と相互理解に努めているか		○	今までそういった事例はない。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○	今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、参加は出来なかった。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	交流の機会がありませんが、今後交流の機会を作っていけるよう調整していきたいと思います。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		○	あれば参加していきたいと思います。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		日々の活動内容を、連絡帳に記載し、保護者と情報共有できるようにしています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○	ペアレントトレーニング等の支援を行っていません。保護者から相談があった際は、随時相談支援を行っている。
保護者への説明責任等	30	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に時間を設けて行っている。報酬改定があった際は、紙面にてお知らせしていきます。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		必要時に助言を行っています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		行事等に保護者も参加できるよう計画していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		苦情相談窓口を設け、迅速に対応するように心掛けています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		月に1回、あすび新聞を発行し活動の様子や行事についてお知らせしている。
	35	個人情報に十分注意しているか	○		会社で定めた秘密情報管理規程を遵守しています。今後も、個人情報の取り扱いには十分留意していきます。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		わかりやすい伝達方法を工夫したり、伝わる方法を児童や保護者に合わせるようにしています。
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	年に1度、グループ全体の行事として行っていましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、今年度は中止となりました。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○	職員に周知しています。保護者にも周知するよう努めて参ります。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		○	開所して間もない為、訓練を実施していません。令和3年度に訓練行っていきます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する為、適切な対応をしているか	○		虐待防止委員会による定期的な巡回や、年に1度、研修会を設けています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		放課後等デイサービス計画に身体拘束の項目を設けています。やむを得ず身体拘束をする場合の内容等を記載し、保護者にも同意を得ています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○	医師の指示書までの必要なアレルギーの児童は利用されていませんが、今後、石の指示書が必要なケースがあった際は、対応していきます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		各事業所で起こったインシデントアクシデント報告書を回覧し共有しています。